



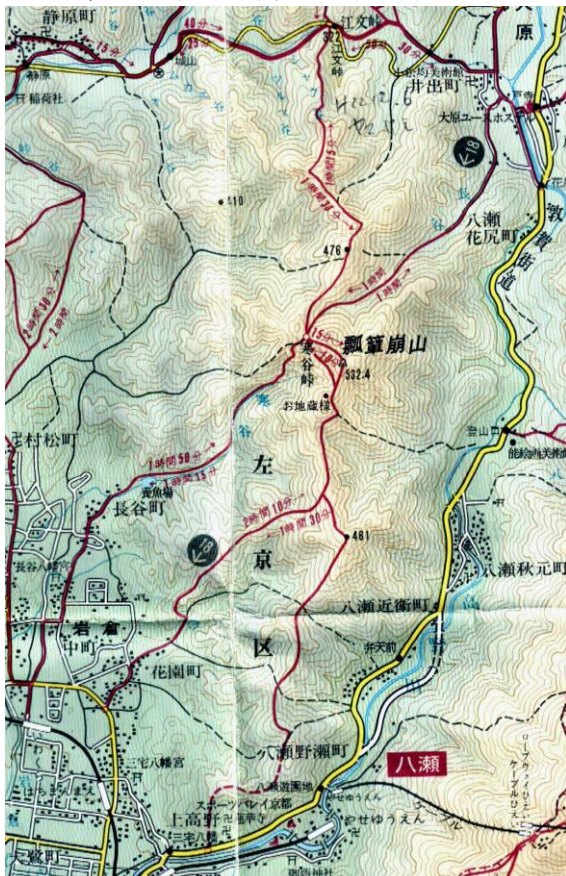
2016/07/12

瓢箪崩山（532m）ハイキングの案内

今回の山は面白い山名です。どうしてこんな名前になったのでしょうか？山並みが瓢箪の形をしているところから付いたと言われていますが・・・？ 出町柳から大原に向かうバスは高野川を遡っていきます。今回の源流シリーズは高野川に注ぐ源流巡りです。バスは大原の手前にある戸寺で降ります。バス停から目的の瓢箪崩山が目の前に見えています。登山口までは舗装された道を歩く事になります。

最初の計画では比叡山としていましたが、この時期に比叡山に登るのには少し無理があるように思いましたので、変更致しました。また、今回も前回同様に源流の水質検査を行います。 担当（源流シリーズ G）

- | | | |
|--------|---|-----------------------|
| 1：日 時 | 平成 28 年 8 月 25 日（木） | 集合場所：出町柳駅改札口 9 時 40 分 |
| 2：持ち物 | 弁当、水筒、雨具、双眼鏡、ストック等 | 10 時発の大原行きバスに乗車 ビバ等 可 |
| 3：目的地 | 大原の里 10 名山の 1 つ瓢箪崩山 | |
| 4：行 程 | 出町柳～戸寺バス停・・・元井出橋・・・林道・・・鹿除けゲート・・・分岐・・・寒谷峠・・・瓢箪崩山（昼食）・・・寒谷峠・・・池・・・岩倉駅→出町柳駅（解散） | |
| 5：行程距離 | 約 8km 歩行時間 3.5 時間 | |
| 6：経 路 | 下記の地図参照 | |



戸寺バス停からの瓢箪崩山



瓢箪崩山（532m）ハイキング記録

今回の源流シリーズは高野川に注ぐ源流巡りです。

出町柳から大原の手前にある戸寺のバス停を降りたところには「瓢箪崩山」が眼前に迫っていた。

「瓢箪崩山」 何とも滑稽な名前である。

瓢箪が横に倒れ崩れた形をしているように見えるところから名づけられたようである。

真っ青な空に真っ白な綿雲が浮かび上がり、いかにも『暑そう・・・！』

ギラギラと照りつける真夏の暑い太陽を背にして11名の参加者全員が元気に登り元気に下山することができた。

日時 平成28年8月25日（木）

参加者 石原、大石、児玉、金高、坂根、並木、中曽根、日景、前野、壺三、藤井

10時30分に戸寺のバス停を出発。ここは京都金比羅山の起点でもあるとの説明数分程度歩き高野川にかかる元井出橋の傍で水質検査のための水を採取。

大原の、田んぼが広がる道を歩いている途中で、（ハーブ研究科）古民家で暮らすベニシアさんの自宅を見つけ感激！ さらに進むとゲートが設けられた林道の入口に入る。

鹿やクマが居そうな暗い林道が続く。

山の中はひんやりとして下界の暑さを忘れそうである。

一時間弱歩いた所で源流の水を再び採取。暫く尾根にそった登山道を歩くと寒川峠に到着。小さな広場になっていた。さらに山頂上まで一気に登り12時30分三角点に到達。

大量の汗をかいた後の風が何とも心地よく清々しい気分だった。

山頂からは八瀬の集落、比叡山を垣間見ることができた。

その後二度にわたり採取した水をコップに仕分けし全員で水質検査を行った。



ベニシアさん邸



水質検査



頂上にて

記録担当

源流グループ 藤井